

## 議 事 録

会議名	第53回広島市中央卸売市場開設運営協議会
日 時	平成29年1月17日(火) (自)午後1時30分 (至)午後2時35分
開催場所	広島市西区草津港一丁目8番1号 広島市中央市場管理事務所 3階大会議室
公開・非公開の別	公開
出席者	委員(50音順) 20名中18名 飯山委員、井野口委員、大下委員、金井委員、佐古田委員、佐々木委員、杉本委員 住田委員、竹原委員、月村委員、土岡委員、豊後委員、水永委員、矢野委員、山口委員 山本(晃)委員、山本(彰)委員、山本(勇)委員  開設者 9名 中央卸売市場長、食肉市場担当部長、東部市場長、中央市場市場総括担当課長 中央市場市場整備担当課長、中央市場業務担当課長、食肉市場管理担当課長 食肉市場業務担当課長、東部市場次長  傍聴者 2名
議 事	1 議 題 正・副会長の選任について 2 報告事項 中央市場再整備の方向性について 3 その他

司会（皆川課長）

ただいまから、第53回広島市中央卸売市場開設運営協議会を開会いたします。  
委員の皆様には、お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。  
私は、中央市場で市場総括担当課長をしています皆川と申します。

今回は、第21期の委員として御就任いただきましてから、初めての会議でございますので、協議会の会長が選任されるまでの間、私が進行役を務めさせていただきます。  
どうぞ、よろしくお願いいたします。

開設運営協議会の委員総数は20名です。今現在ご出席いただいている委員は17名で、過半数を超えておりますので、協議会は成立しております。

それでは始めに、本日ご出席の皆様方の御紹介をさせていただきたいと思っております。お手元の配席図と委員名簿をご覧ください。

まず、学識経験者の選任分野から、生産者代表の水永委員でございます。同じく山本勇二委員でございます。流通関係から矢野委員でございます。同じく飯山委員でございます。消費者代表の山下委員でございます。同じく月村委員でございます。

次に、卸売業者の委員の皆様方です。中央市場の青果部から豊後委員です。続いて、花き部から竹原委員です。東部市場から山本彰夫委員です。

次に、仲卸業者の委員の皆様方です。中央市場の青果部から佐古田委員です。続いて、水産物部から井野口委員です。花き部から山本晃生委員です。東部市場の住田委員です。食肉市場の仲卸業者及び売買参加者代表の杉本委員です。

次に、売買参加者の委員の皆様です。中央市場の青果部から山口委員です。水産物部から土岡委員です。東部市場から金井委員です。

なお、佐々木委員、築道委員、宮本委員につきましては、日程調整の際に、本日はご欠席とのご連絡をいただいております。（※佐々木委員は途中から出席）

以上で、委員の皆様方のご紹介を終わらせていただきます。

続きまして、本日出席しております開設者側の紹介をさせていただきます。

新谷中央卸売市場長でございます。橋本食肉市場担当部長でございます。土井東部市場長でございます。後列にまいりまして、中央市場の国信市場整備担当課長でございます。同じく中央市場の鈴木業務担当課長でございます。続いて、食肉市場の二階堂管理担当課長でございます。同じく食肉市場の児玉業務担当課長でございます。最後に、東部市場の国田次長でございます。

以上で、開設者側の紹介を終わらせていただきます。

それでは、会議次第によりまして、開設者から、御挨拶を申し上げます。

開設者  
（新谷場長）

あらためまして、本日はお忙しい中、第53回中央卸売市場開設運営協議会にご出席いただきまして、大変ありがとうございます。本日は議事を二つご用意させていただいております。一つは先ほどありましたように正・副会長さんを新たにご選任いただくということ、もう一つは、報告事項といたしまして、中央市場の再整備の方向性について広島市の方針決定がなされましたので、それについての報告でございます。

報告事項の中央市場の再整備の方向性につきましては、本来であれば、広島市の意思決定の前に、この開設運営協議会を開かせていただいて、皆様方のご意見等を頂戴して、それを踏まえて市の方で方針決定をするのが、この開設運営協議会の性格なり役目から

	<p>すると一般的な順序になりますけれども、皆様もうマスコミ報道等でご存知かと思いませんけれども、昨年末、12月26日に市長以下幹部会議を開いて、現地での全棟建替という広島市の方針が決定されました。この開設運営協議会と市の幹部会議開催との日程調整の都合上、一般的な順序が逆転し、この開設運営協議会が後になってしまい、報告事項となったことをお断りさせていただきたいと思います。</p> <p>これから再整備の具体的な計画づくりに取り組んでまいります、その計画づくりで取り込めるような貴重なご意見を本日の皆様方から頂戴できればと思いますので、活発な意見交換、ご議論をしていただきたいと思います。</p> <p>私からは以上でございます。本日はよろしくお願いいたします。</p>
司会（皆川課長）	<p>ありがとうございました。それでは次第によりまして、最初の議事であります会長及び副会長の選出についてお諮りしたいと思います。</p> <p>参考資料の3ページをご覧ください。ここにございますように、当協議会の会長と副会長の2名は、委員の互選によって定めることとなっておりますが、これまでの状況を見ますと、慣例として、会長は、中央市場の卸売業者からの委員が順番に、また、副会長については、生産者代表の委員1名と消費者代表の委員1名が選出されております。今までの例はこうなのですが、今回も、この例にならうこととしたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
一同	『異議なし』
司会（皆川課長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、会長に、豊後委員、副会長には、前期からの引き続きということで、山本勇二委員と月村委員をお願いしてはどうかと思いますが、皆様いかがでしょうか。</p>
一同	『異議なし』
司会（皆川課長）	<p>ありがとうございました。『異議なし』とのお声でございますが、豊後委員、山本勇二委員、月村委員、よろしいでしょうか。</p>
(各委員)	(了解)
司会（皆川課長）	<p>ありがとうございます。それでは、会長、副会長の席に移動をしていただければと思います。</p> <p>それでは、豊後会長より、一言御挨拶をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
豊後会長	<p>それでは、会長就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>この開設運営協議会は、皆様御承知のように、市長の諮問を受け、中央卸売市場の施設整備、業務運営、及び売買取引に関することについて調査・審議する機関で、これま</p>

	<p>でも、中央卸売市場の効率的な運営と活性化に向けて、諸先輩がご尽力されてこられました。</p> <p>昨今、卸売市場を取り巻く環境は、少子高齢化に伴う食料消費の量的変化や社会構造の変化に伴う消費者ニーズの多様化など、依然として厳しい状況が続いております。</p> <p>昨年1月には、農林水産省が策定・公表いたしました第10次卸売市場整備基本方針において、今後の卸売市場は、生産者・実需者との共存・共栄を図るという視点の下、川上と川下をつなぐ架け橋として求められる機能・役割を強化・高度化していくということが明言をされている一方で、同じく昨年11月の政府の規制改革推進会議農業ワーキング・グループの提言においては、卸売市場については抜本的な見直しが必要である旨が示されるなど、今後の卸売市場をめぐる環境は、大きく変化していくものと考えられ、そうした変化に応じて、様々な施策や整備を行う必要があると考えています。</p> <p>広島市中央卸売市場が、こうした環境の変化に適切に対応し、生産者と消費者の皆様、より一層信頼される市場となるためにも、委員の皆様から、各々の立場でのご意見を賜りながら、この協議会を運営していくことが最も重要と考えておりますので、皆様のご協力を、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>大変簡単ではございますが、就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
司会（皆川課長）	<p>ありがとうございました。続きまして、副会長にご就任になられた、山本副会長、月村副会長、一言ずつ御挨拶をいただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
山本副会長	<p>山本でございます。微力ではございますが、会長の補佐役として鋭意務めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
月村副会長	<p>月村でございます。消費者協会の方もいらしていますけれども、私たち消費者としまして、市場の皆様が元気になるように後押しができればと思っております。何分いたりませんけれども、頑張らせていただこうと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
司会（皆川課長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからの進行は、豊後会長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
豊後会長	<p>それでは、ここから、私が議長を務めさせていただきます。議事進行には、御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、早速でございますが、議事に入らせていただきたいと思います。</p> <p>報告事項でございます中央市場再整備の方向性につきまして、開設者の方からご説明をお願いいたします。</p>
国信課長	<p>市場整備担当の国信でございます。それでは、中央市場再整備の方向性について、</p>

お手元の資料に沿ってご説明をさせていただきます。

まず1の課題とこれまでの検討状況です。

広島市中央市場は、昭和56年の移転開場から35年が経過し、老朽化が進んでいることから、市場の活性化策や老朽化対策など、今後の市場整備の方向性を検討するため平成26年度に中央市場整備検討会を設置しました。

昨年度、耐震診断調査を行いました。その結果、市場の主要施設である青果・水産・花きの各卸売場棟の耐震強度が不足していることが判明しました。

この診断結果を受け、中央市場整備検討会において、耐震改修か、又は現地建替或いは移転建替かについて、検討を重ねてきました。

2はその検討内容です。

まず、耐震改修について、様々な考えられる耐震工法を検討した結果、青果棟及び水産棟については、耐震基準を満足させるには、ほぼすべての柱間に筋交いを設置する必要があり、筋交い以外の工法では耐震性能を満足させることが出来ないこと、またこの筋交いを設置すると、作業車等の動きが著しく制限され、物流機能に大きな支障が生じることから、青果棟及び水産棟の耐震改修は適切ではないとの結論になりました。

また、花き棟については、筋交いは必要であるものの、通常の筋交いより、通り抜け空間を多くとれる変形筋交い、いわゆるアーチ型筋交いを採用することが可能でした。しかしながら、やはり作業車の通行に制約が生じることや耐震改修では建物の延命化には繋がらないことから、建替の必要性はなくなり、花きの事業者の方々も青果棟、水産棟の建替に合わせた同時期の建替を望まれています。

こうしたことから、耐震改修検討結果として、耐震改修は適切でなく、全棟建替が望ましいという評価となっています。

次に、現地建替ですが、広島市中央市場は全国でも3番目に広い敷地を有し、効率的なローリング工事、すなわち各部門ごとの順次の現地建替が可能であること、それから周辺環境も関係事業者の集積と幹線道路の整備が進んでおり、物流拠点としてのインフラ条件が整っていること、更には、現在進められている商工センターの活性化検討と整合を図りながら、連携して地域の発展に貢献できるなど、現地のメリットを生かした再整備が可能であるという評価です。

次に、移転建替ですが、移転先の要件として、まずある程度まとまった土地、現市場から推して考えても約20ha程度の整形地が必要であること、それから市場移転用地の周辺に、現市場周辺関連施設の移転用地も確保できること、市場へのアクセスが良好であること、周辺住民の理解が得られることなどが挙げられますが、現時点で、これらの要件を満足する候補地は見当たらない状況です。

3番目の中央市場整備検討会での取りまとめですが、これら耐震改修と建替の検討結果を基に、青果・水産・花き・関連事業者の各部会において方向性、意向をとりまとめていただいた結果、各部会とも現地建替が望ましいという意向でした。

昨年、12月20日に開催した中央市場整備検討会において、各部会の意向を踏まえ、できるだけ早期に現地での全棟建替が望ましいという方向性が、全会一致で採択されました。

	<p>本日の開設運営協議会への報告事項である4の再整備の方向性ですが、この中央市場整備検討会の取りまとめを受け、広島市としても、中央市場再整備の方向性は、できるだけ早期に現地での全棟建替とすることとし、中央市場の再整備を進めてまいります。</p> <p>5の計画づくりに当たっての基本的事項を五つ挙げています。</p> <p>まず一つ目、生鮮食料品等の流通を担う基幹的な社会インフラとして、新市場は場内物流の効率化や一層の温度・衛生管理など品質管理の高度化を図ります。</p> <p>次に、災害時にも食料品の供給拠点として継続性を確保するため、災害に強い市場づくりを目指します。</p> <p>そして、事業費の節減と場内事業者の使用料負担の軽減を図るために、事業手法、市と場内事業者との整備分担、適正な施設規模や仕様、配置などについて検討を行います。</p> <p>さらに、広島市だけでなく、近隣市町を含めた広島広域都市圏、さらには中国四国地方の拠点市場となるよう、市場全体の活性化を目指します。</p> <p>最後に、商工センターの一角に立地する市場として、商工センターの活性化との整合を図りながら、立地を活かした賑わい機能の付加についても検討いたします。</p> <p>中央市場の再整備の方向性についてのご説明は以上でございます。</p>
豊後会長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご質問等があればお受けしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>ご意見ございませんでしょうか。</p> <p>この資料の参考に市場の概要がありますが、あわせて説明をしていただいてもよろしいでしょうか。</p>
国信課長	<p>中央市場の概要でございますけれども、業務開始は昭和24年10月10日、加古町で開始しておりますが、こちら草津に移転してまいりましたのは、昭和56年10月12日でございます。取扱品目は、青果・水産・花きの3部門でございます。敷地面積は、先ほど申しましたように全国で3番目の広さで24万㎡、広島市の市民球場10個分という広さを誇っております。建物面積は、トータルでございますけれども、延べ床面積10万8千㎡。平成27年次の取扱高でございますが、青果が約351億、水産が293億、花きが63億となっております。以上でございます。</p>
豊後会長	<p>今参考のところの報告までしていただきましたけれど、ご質問はございませんでしょうか。</p>
山本(彰)委員	<p>東部市場は、建設後50年近くが経過していますが、開設者として、何か手をかけようとするつもりでいるのか、また朽ちてそのままなくなるという考えを持たれているのか。たとえば、来年、再来年に東部の方も手をかけて、変えていただけるなら私もうれしいことです。いろいろな観点からみた場合に、大きな市場に集約するということも私はいいと思うし、これから、各団体、各論いろいろ難しいことが出てくると思いま</p>

新谷場長	<p>すけれども、何か一つでも明かりがあるのかどうか、場長さんにお聞きをしたいのですが、よろしいですか。</p> <p>今日お示した資料の中には、東部市場について言及した部分はございません。中央市場整備検討会というのは、3年前に設置して、中央市場について、どう活性化していくのか、又はハード面でどう整備をしていくのかということについて議論をしてきたものでございまして、その際に耐震診断を先行してやったところ、非常に悪い結果が出てきたので、再整備の方向性について特化して議論をさせていただきました。その中で、決して、東部市場を議論というか考慮の外に置いていたわけではございませんで、今現在の状況なり市の考え方を述べさせていただきますと、これから中央市場の再整備の計画づくりをしていくのにあわせて、東部市場の今後のあり方についても、関係事業者の方々とも相談をしながら、開設者としての考え方を議論していこうということしております。今の時点は、中央市場を耐震改修するのか、はたまた建替えるのかという方向性が決まった段階でして、まだ具体的に、どういった内容のものを、どういった規模のものを作るのかということについては、これからまさに始めるところですので、そうした中で、東部市場のあり方についても検討させていただいて、東部市場を含めた中央卸売市場として、どういった整備をするのか、ご相談させてもらおうと考えています。</p>
山本(彰)委員	<p>非常に不安なこともあるし、企業間のいろんなことは別として、東部市場をどうするのか、市の頭の中には売却ということもあるのかもわからないけれど、そういう方向に整備計画をもっていくのか、何かお考えがあるのなら、別の機会でもいいので、教えてもらいたい。</p>
新谷場長	<p>今現在、市の方で、東部市場のあり方についてどこかに向かって検討しているということではございません。当然に、統合もあるでしょうし、存続もあります。また別な形も考えられるのだらうと思います。選択肢は広く構えています。場内事業者の方々ともよく相談をさせてもらいながら、検討させてもらおうと思っています。</p>
豊後会長	<p>ほかにご意見ご質問等がございましたらお受けしたいと思います。</p>
新谷場長	<p>開設運営協議会のメンバーの方々は、大半が整備検討会の委員と重複していらっしゃるって、ほとんどの方が検討の中の経過を御存知なので、あまりご意見がでないようですけれども、やはり一番の関心事は、事業費はどれぐらいになるのだろうか、スケジュール感としてはどうだろうか、それから、具体的にはどんなところに特徴なり力点を置いた施設整備をするのだろうかというようなことだと思います。</p> <p>資料の5に計画づくりに当たっての基本的事項として五つほど挙げさせていただいています。これはまだまだ中身を伴っているものではありませんが、1番は、(3)に掲げておりますように、広島市の財政状況、それから場内事業者の方々、関係事業者の方々の経営状況等々から、やはり事業費はできるだけ節減をしていくということ、それから、ひいては、場内事業者の方々の使用料の負担軽減を図るということに最重点を置いた計</p>

画づくりをするということが、まず市長の大きな考え方でございます。そのためには、他の市場で最近整備された事例を見ますと、PFIというような民間の資金を活用した手法を採られているところもありますし、また、すべてを開設者が整備するのではなくて、必要とされる事業者の方が、必要に応じて過大な負担のないところで整備をされるという整備の分担をされている市場も見受けられます。それから、今の市場というのは、40年近く前に作って、すべてが全量をせりにかけるという前提で作った市場ですので、卸売場にしても非常に広がっています。最近の取引の形態から言えば、ここまで広い規模の市場はいらないのではないかとということもございます。極力事業費を節減するためにも、コンパクトな施設・規模、それから物流の効率化を図るための効率的な施設配置、現在、加工場とか冷蔵庫の関係とかは場内にかなり分散して、非常に非効率な物流になってご迷惑をおかけしておりますけれども、そういったものもできるだけ集約して効率的な物流ができるように、また、これから需要が増えていく加工機能についても、いろいろと考えてやっていきたいと思っております。

それから、(5)商工センターの行ですけれども、現在、商工センターもこの市場と同じように40年近くが経過して、事業者の中には建替を検討されている方もいらっしゃいますし、またすぐ近くにレクト、イズミさんが新たな形態の商業施設を建設されています。それからアルパークの方もあります。また、北の方でも大きな量販店の設置が予定されています。そうした一つの大きなくくり、商圈の中で、商工センターの一角に位置する中央市場として、物流施設というだけではなくて、商工センター全体の魅力づくりにも寄与できるようなしかけと申しますか、そういったものを設けて、賑わいを創ることができないだろうかというようなことも考えています。もちろん皆様方の賛同を得ての話になりますけれども、そういったことも頭の中にはございます。

皆様方から、いろいろ我々の気づかない部分でご意見をいただいて、よりいい施設づくり、計画づくりに活かせればと思っております。よろしく願いいたします。

豊後会長

今、市場長から補足的な説明がございましたけれど、それに関しましても何かご質問等があればお受けしたいと思います。

山本(晃)委員

再整備が決まったということで、これからいろいろな問題が発生すると思いますが、新しい建物は、何年で大体完成するのでしょうか。新聞によれば10年というスパンになっていますが、大体それぐらいの年月をかけて出来上がるのでしょうか。その辺をお聞かせ願いたいと思います。

新谷場長

それではスケジュールについて説明させていただきます。計画はこれからですので、まだ具体的なことは決まっておられませんけれども、他の市場の例を見ますと、大体計画づくりと設計で3年ないし4年、ここと同じように現地でローリングをしながら建替える工事に大体6年から7年、長くかかっているところは工事だけで7年とか9年とか10年とかかかっているところもあります。計画から設計までが3年、現地建替の工事で6、7年というところで、他の例からすると、概ね10年ぐらいはかかるのではないだろうかと思っております。



	<p>他の市場の開設者等にお聞きすると、工事に入れば、何か事故等が起こらない限りはさっさと進むのですが、一番時間がかかるのがやはり計画づくりということで、場内には多くの事業者の方々、卸の方、仲卸の方、売参の方、関連事業者の方、それぞれお立場の違うの方々、また将来の会社の経営展望に照らして、経営方針の違う方、経営状況の違う方など様々な方がいらっしゃいますので、どういったものを作るのかということについて、そうした方々の意見を調整し、合意形成を図って計画をまとめるということに一番時間がかかったということでございます。これから計画づくりを約1年かけて進めていきますが、できれば1年以内に作りたいと思いますけれども、この1年ないし2年が、最も勝負どころだと考えています。</p>
豊後会長	<p>よろしゅうございますか。ほかに。</p>
井野口委員	<p>現在、この市場の中には多くの業者の方がおられると思いますが、何社いらっしゃるのでしょうか。</p>
新谷場長	<p>中央市場内でいえば、平成28年6月1日現在の数字ですけれども、卸売業者の方が4社、仲卸業者の方が44社、そして、関連事業者の方が46社ということで100社弱、それに、毎日ご利用いただく売買参加者の方が1,132社の届出があります。売買参加者の方でも、関連棟で加工業務等を営んでいらっしゃる事業者の方もありますので、業者数としては100社程度の方々が、この市場の中で常時活動していらっしゃるという状況でございます。</p>
井野口委員	<p>100社が常にここを拠点として活動しているわけですが、それらを整理するという方向もあるのでしょうか。</p>
新谷場長	<p>整理するというような方針はもちろん持っていませんし、今後、持つことになるようなことは避けたいと思います。他市場の状況を見ますと、再整備を機に廃業された事業者の方もいくつかあるように聞いていますし、あるいは、合併等をされて違う形で再出発されたというところもあるようです。しかし、そういうことを開設者が、何か考え方を持って主導してやっていくということは適切ではないと思います。関係事業者の方々の総意としてということであれば、そういうことも考えられますけれども、基本的には、計画づくりをされる中で、それぞれの事業者の方が、将来の経営展望に照らしてご判断をされるのが基本だと思います。</p>
井野口委員	<p>計画づくりは、その100社のすべてを考えて進めていくのか、あるいは、まずは建物を作って、そのあとに、ここへ入っていただきますよということになるのか、その辺がどうなるのか少し心配をしております。</p>
新谷場長	<p>おっしゃられたようなことで調整が必要になるのは仲卸さんになろうかと思えます。今はコマ割りの部屋配置になっておりますけれども、20年、30年先を見たときに、</p>

	<p>今までのようなコマ割りが、仲卸さんの施設形態として最もいいのかどうか。それぞれの経営規模なり経営形態によっては、加工場をたくさん設けたい方もいらっしゃるでしょうし、そうではなくて、専門小売店の方を中心にした商売をされるので、店舗としてはそんなに広くなくてもいいという方もいらっしゃるでしょうし、そういったところは、まさに、青果・水産・花き、各部門それぞれの仲卸の方々が、どういった施設形態を望まれるかということだと思います。たとえば、業者の数や形態がどうなろうとも、かなりフレキシブルにコマ割りができるような大きな空間のものを作って、実態に応じたように割振りを変えていくというような施設仕様も考えられるでしょうし、初めから、大きいところ、中間ぐらいのところ、小さいところといくつかを用意するという方法もあるでしょうし、そこは皆さんのお考えをお伺いしながら全体の仕様を決めていくということになるかと思っています。</p>
豊後会長	<p>井野口委員よろしいでしょうか。</p>
井野口委員	<p>皆さんの意見を聞いてもなかなか進まないと思いますし、100社のすべてが営業を続けるとも思えません。そういう状況になったときにどうするのか心配しています。</p> <p>我々にとっては、配置がどこになるのかということが重要だと思っています。特に水産の場合は非常に微妙だと考えていて、組合としては、港があって海があるというこの市場の環境をどうしても活用したいと思っています。今までは、そんなに活用をしていなかったと思いますが、今後は、この環境を活用していく方向で考えていこうという話、水産の組合の会議で出ています。</p>
新谷場長	<p>今日は再整備の方向性の検討結果の報告でして、具体的にどんな施設を作るのかということについては、まだこの段階で決定事項としてご報告できるものではありませんが、来年度以降、この整備検討会を、今度は建替を目的とした建替検討委員会というような名称に替えて、構成メンバーは整備検討会と同じようになるかとは思いますが、そういった委員会を設けて、その委員会を協議の場の軸として、施設の内容などを協議しながら計画づくりを進めていくことになるかと思っています。卸さん、仲卸さん、買参人さん等の団体の代表の方がメンバーになられますので、その検討委員会の場だけではなくて、日ごろからそれぞれの団体の中で、いろんなことを議論して、意見交換をしていただいて、その意見をある程度集約したうえで、建替検討委員会の中で、徐々にオーソライズしていくというような形になるかと思っています。</p>
豊後会長	<p>井野口委員よろしゅうございますか。</p>
井野口委員	<p>またどんどん意見を言わせていただけるということですね。</p>
豊後会長	<p>ほかにございませんか。</p>
佐々木委員	<p>井野口委員からのお話と関連すると思いますが、先ほど新谷場長からお話があったよ</p>

	<p>うに、計画づくりに当たっての基本的事項というところの5番目に、立地を活かした販  わい機能の付加というのがあります。これは今までの市場にはない全く新しい機能で  す。ここの市場のように港に面した中央市場はほとんどありませんし、この市場の特性  として、特に水産の場合、瀬戸内を中心とした新鮮な魚が水揚げされ、また、水産棟か  ら見た広島湾のロケーションも素晴らしいという立地環境があります。こうした生まれ  た立地環境を活かして、広島市民に限らず、皆さんに本当に楽しんでいただけるような、  日常を離れた経験が市場でできるというような、そういったものも、この付加機能の中  に入れていただければと思っています。</p> <p>新しい開かれた市場のあり方を皆さんで考えていければいいなと思いますし、また、  いろいろな条件が加わるとは思いますけれども、現在事業をやっている皆さん  が生き残っている環境づくりといったことも考えていければいいなと、個人的に思っ  ています。</p>
豊後会長	<p>ありがとうございました。ほかにご意見はございませんでしょうか。</p>
飯山委員	<p>青果・水産・花きの建物は、今回、検討の対象になっておりますが、食肉については、  新しい建物なので大丈夫だととらえてよろしいのでしょうか。</p>
新谷場長	<p>食肉市場は、別の敷地に建っておりまして、平成4年にこちらの方へ移転しました。  現在25年経っておりますので、決して新しいものではないのですが、中央市場  のように耐震強度が不足しているという状態ではないと認識しております。ただ、施  設・設備も老朽化してきていますので、計画的にこれを更新するなり、衛生性の向上を  図っていくということで考えております。</p>
飯山委員	<p>ありがとうございました。</p>
豊後委員	<p>よろしゅうございますか。ほかにごございませんか。</p>
月村委員	<p>付加価値をつけるという夢を語り合う場はあるのですか。</p>
新谷場長	<p>もちろんです。</p>
月村委員	<p>夢を持ちたいなと思っております。よろしく願います。</p>
豊後会長	<p>ほかにごございませんか。</p>
山口委員	<p>市場では、安心・安全ということがとても大事なことだと思いますが、計画づくりの  基本事項の中で、そのことが抜けていると思いますので付け加えていただければと思  います。たとえば、市場の中に、病原菌や農薬を調べたり、検便を調べたりする検査機  関があれば、すぐに対応していただければと思いますので、検査機関を入れるというこ  </p>

	<p>考えてもらいたいと思います。</p> <p>もう一つは、広島市の、市民の市場ではありますが、だれでも自由に出入りすることによって、本当に安心安全が担保されるのだろうかと思います。やはり入場については、きちんとした管理をしていただきたいし、消費者の方が来られるのはもちろん構いませんが、場内に勝手に自由に出入りしていただくということについては、少し問題があるのではないかと思います。誰が入ってきてどんなことをするのかもわかりませんし、盗難の問題もありますし、もちろんテロなどの心配もあります。市場まつりとかで来ていただいで市場の中を見ていただくのは結構だけれども、自由に出入りすることについては、少し考慮していただきたいと思います。</p>
新谷場長	<p>ごもっともなご意見でございます。新鮮で安全・安心という言葉自体はここには出ておりませんが、安全に関しては、(1)に掲げています、温度・衛生管理などの品質管理の高度化というところで、おっしゃられたような品質管理の機能強化を図っていくという思いであります。入退場の件については、もちろん守るべきところは守ったうえで、(5)の賑わい機能をどういう形でできるのか、検討して行くことになろうかと思います。</p>
豊後会長	<p>よろしゅうございますか。ほかにございませんか。</p>
新谷場長	<p>最後によろしいでしょうか。冒頭の豊後会長のご挨拶の中にもありましたけれども、卸売市場法が大きく見直しをされて、今の中央卸売市場という制度がなくなるのではないだろうかという見方があります。まだ、今の段階では、具体的な内容は明らかになっていませんが、もしかするとそうなるかもしれません。その時に、開設者として、今後この中央卸売市場をどうしていくのかということについて、大きな判断を伴うところですけれども、現在の市としては、やはり卸売市場法が仮に変わったとしても、生鮮食料品等の流通の拠点といいますか、計画づくりの基本的事項にもありますように、基幹的な社会インフラというのは変わらないのだらうと思います。すべてを民間企業の流通に任せた場合、消費者の方々は、新鮮で安全安心な食料品等を常にお店で買えるという状況にはならないのだらうと思います。やはり、日本独特に発展してきた市場制度は、非常によくできた仕組みですし、その制度が果たしていく役割は重要であり、広島市としては、今後も守っていかなければいけないと考えているところでございます。ただ、昔のとおりのことをずっと続けていくというのではなくて、さまざまに変わっていく環境にうまく対応しながら、我々も、場内業者の方々も、考え方や形を変えていきながら生き残っていくということが大事だらうと思います。そういう事態に陥ったとしても、続けて行くことができるようなハード面の整備、そして先ほど出ていたようなソフト面での配慮、それが重要になるのだらうと思います。これから、皆さん方にもそういった意識を持って、前向きなご意見、ご提案をいただければと思います。</p>
豊後会長	<p>大変ありがとうございました。ほかにございませんか。</p> <p>ないようですので、二つ目の議事、中央市場の再整備の方向性については、ここまでとさせていただきます。</p>

予定をしておりました二つの議事につきましては、終了しました。その他、ほかに何かございましたらお受けいたします。ございませんか。

それではないようですので、以上をもちまして第53回広島市中央卸売市場開設運営協議会を閉会いたします。

皆さん、御協力誠にありがとうございました。